

## 大津波想定で防災訓練 住民ら234人参加

3月23日、大津波の発生を想定した避難訓練を、津波浸水対象区域の12自治会2080人を対象に実施しました。対象住民や消防、警察など234人が参加し、自宅から高台の避難場所への経路や所要時間などを確認しました。

太平洋北海道沿岸で発生したマグニチュード8.3の地震で、町内で震度5弱を観測したとの想定で訓練が行われました。町は、防災行政無線をはじめ消防サイレン、車両広報、緊急速報メール、FMワイラジオへの緊急割り込み放送で避難指示の情報伝達を行いました。

訓練では、今回初めて室蘭工大の協力で、GPSを使った避難行動の調査も行い、住民の避難経路や年齢による移動時間などを分析し、今後の防災



リヤカーで住民避難の支援訓練をする入江4区婦人防火クラブ

計画に反映。入江4区婦人防火クラブが、住民避難支援の訓練として、リヤカーでの避難行動を行いました。

## 日本消防協会特別表彰 洞爺湖消防団祝賀会

胆振管内で初めての日本消防協会特別表彰「まとい」を受章した西胆振消防組合洞爺湖消防団（寺島勉団長）が、3月21日洞爺湖文化センターで、祝賀会を開きました。関係者約140人が出席。全国に約2,000ある消防団の中から、活動が優秀な10団体だけが毎年選ばれ、消防団関係者にとって「最高の栄誉」とされている表彰です。

祝賀会では、寺島団長を先頭に、団員らが重さ8kgの「日消」と書かれた金と銀色に輝くまといを手に入場。寺島団長は式辞で「受章を機に一層防災の中核として地域一体となり消防団活動にまい進していきたい」と決意を述べました。

まといは、3月27日～4月17日まで洞爺総合支所1階ロビー、同18日～28日には洞爺湖町役場



まといを横に決意を述べる寺島団長

## 新人職員紹介

▽松本 幸奈（総務課）



①伊達市②22歳③札幌学院大学④早く洞爺湖町になじめるよう、頑張りたいと思います。

▽泰地 敬介（上下水道課）



①洞爺湖町②32歳③苫小牧工業高等専門学校④信頼と親しみのある職員を目指します。

▽椿澤 成美（健康福祉センター）



①旭川市②22歳③旭川大学④保健師として、町民の健康づくりのために頑張りたいと思います。

▽楽木 雄太（洞爺総合支所 農業振興課）



①洞爺湖町②25歳③道都大学④町民の皆様に信頼していただける職員になり、生まれ育った洞爺湖町に少しでも恩返ししたいと思います。

▽富留田 都（健康福祉センター）



①洞爺湖町②27歳③北星学園大学④洞爺湖町のために頑張りたいと思います。

▽瀬野尾麗捺（入江保育所）



①洞爺湖町②20歳③三幸学園札幌こども専門学校④誰にでも信頼されるように頑張っていきたいです。

①出身地 ②年齢 ③最終学歴 ④抱負